

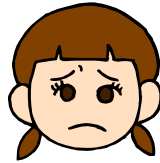
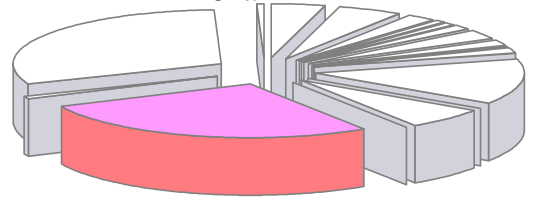
着果管理の省略ができる単為結果性ナスの育成

野菜茶業研究所 果菜研究部

ナス科育種研究室 齊藤猛雄

連絡先 e-mail:romario@affrc.go.jp TEL:059-268-4653

低温期は花粉が出にくいいため、うまく授粉せず、果実が肥大しなくなります。
植物ホルモンによる着果促進処理が行われます。



この作業は労力がかかり、総労働時間の約 **3割** にも及びます。

花粉が着かなくても**自動的に果実が肥大する**単為結果性ナスの育種に取り組んできました。



導入した素材



単為結果性・無種子



有種子

ナス安濃交4号・5号・6号を育成。

品種化へ向けた特性検定試験および系統適応性検定試験を実施中。

